

令和4年度

論田小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 楽しく、わかる授業をし、児童の考えを深める授業の実践
- 認め合い、話し合い、学び合う子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 2年主任 吉成 郁美	委員	研修主任	川村恵理子	国語主任	喜来千晶	算数主任	吉成郁美
	少人数	青木 正文	特支学級担任	長谷さやか	6年主任	武市三喜	
	5年主任	岩城 博	4年主任	図子えりか	3年主任	大平江美	
	2年主任	吉成郁美	1年主任	川村恵理子			

校長

榎本 久美

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきた児童が増えてきている。 ●長い文章を正確に読み取ることや話し合いの基礎知識、身に付けた知識を関連付ける事に課題がある。	・文章を正しく読んだり、話し手の意図を的確に捉え、話を聞いたりすることができる。 ・身に付けた知識や技能を他の学習や生活場面で活用することができる。	・音読を継続し、何が書かれているかを的確に捉えさせるようにする。 ・児童に学習の流れが分かるよう、学習のめあてやまとめをはっきりさせる。	・音読や計算、漢字の読み書きなど基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる。 ・学習の流れや他の学習とのつながりの意識付けをさらにしていく。	・音読や計算、漢字の読み書きなど基礎的・基本的な知識・技能が定着してきた児童もいる。 ・学習のめあてや振り返りを行うことで、他の学習とのつながりに気づくようになっていく。	・引き続き継続し、簡単なものを確実に、そして複雑なものにも対応できるようにする。 ・1時間の学習や単元の振り返りを大切にしていく。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○文章を書く力が少しずつついてきている。 ●自分の立場や考えを明確にし、自分の考えをまとめたり表現したりすることに課題がある。	・自分の考えをきちんと表現することができる。 ・自分の考えをさらに深めることができる。	・自分の考えをまとめたり、表現したりする機会を多く設定する。また ICT を効果的に活用する。 ・児童の考えがわかるように板書の工夫をし、「なぜ」「どうして」「別の言い方をすると」などの更なる発問を行い、自分の考えを深めさせる。	・学年に応じて ICT をさらに効果的に活用する。 ・日記など文章を書く機会を増やしたり、ペアやグループで話し合っ	・学年に応じて自分の考えをまとめたり表現したりすることができる児童が増えてきている。 ・ペアやグループでの活動を取り入れることで、わかりやすく伝えようとする児童も増えてきた。	・学年に応じて ICT の効果的な活用方法を探る。 ・主述の関係や文の組み立てを考えて話したり書いたりできるようにしていく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習の習慣がついてきた児童が増えてきている。 ●自尊感情が低い児童の割合が少なくなってはいるが、さらに自尊感情を高める必要がある。	・自分で計画を立て毎日家庭学習ができる。 ・本に親しみ、読書量を増やす。 ・自分を好きになり、意欲的に学習に取り組むことができる。	・児童が取り組みやすい家庭学習の課題を工夫し、習慣化させる。 ・図書室を充実させる。 ・体験学習や学校行事を通して、達成感や成就感をあげ合わせ、自尊感情を高める。	・読書量を増やしていくために読み聞かせや本の紹介をする。 ・生活の中で達成感や成就感を感じられるような課題を設定していく。	・家庭学習がきちんとできている児童が増えているが、十分とはいえない。 ・学級文庫の充実が進んだ。 ・学校行事や日頃の生活の中で達成感や成就感を感じられるようになってきている。	・家庭学習がきちんとできている児童をさらに増やす。 ・図書室が利用しやすいように時間割を作成する。 ・自尊感情を上げていくような機会を増やしていく。

令和4年度 学力向上ロードマップ



